

第438回 発生研セミナー

演題：一橋渡し研究を始めるときに知っておきたいことー

広島大学トランスレーショナルリサーチセンター

杉山 大介 教授

【日時】 12月15日(木) 16時~17時

【場所】 発生医学研究所 1階カンファレンス室 + Zoom

※入室は20名までとし、ZOOMでも配信します。詳細はメールでお知らせします。

橋渡し研究とは、大学等において、高度かつ先進性の高い基礎研究成果や臨床現場からのニーズに基づくシーズの発掘・育成及び非臨床試験から臨床試験への展開を通して、医療への実用化を最終目標とする研究と定義されています。

文部科学省では、15年間に渡り、橋渡し研究を支援する事業を実施し、2021年より、橋渡し研究支援機関の認定制度を開始しました。現時点では、九州大学を始めとして11機関が認定されており、橋渡し研究支援機関は各々の特徴を活かしつつ橋渡し研究シーズのパイプライン管理を行なっています。

講演者は、内科医師をバックグラウンドとし、フランス・アメリカの留学を経験してから、基礎研究者として2006年より九州大学に奉職しました。生理活性ペプチドの発見を契機に、知財マネジメント、起業、産学連携交渉を経験し、2012年からは九州大学病院 ARO 次世代医療センターに所属して、シーズ発掘・育成、開発コーディネーターなどの橋渡し研究支援業務を推進してきました。2020年より広島大学へ奉職し、橋渡し研究支援業務を継続しています。橋渡し研究は医薬品、医療機器、再生医療等製品、体外診断用医薬品など、幅広い分野をカバーすることから、参加者のリクエストに応じてアレンジして頂けるとのこと。皆様のご参加をお待ちしております。

【連絡先】発生医学研究所 幹細胞誘導分野 内 6589 江良 択実